



2023年5月29日

各 位

ENEOS株式会社

## 合成燃料走行デモンストレーション式典を開催

当社（社長：齊藤 猛）が製造技術開発を進める合成燃料<sup>※1</sup>を使用した車両の走行デモンストレーション式典を、5月28日（日）に開催いたしましたので、お知らせいたします。

本式典は、「ENEOSスーパー耐久シリーズ2023 第2戦」が行われた富士スピードウェイ（静岡県駿東郡）に隣接した、トヨタ交通安全センターモビリティで開催されました。国内で製造した合成燃料を、トヨタ自動車株式会社（社長：佐藤 恒治）のご協力のもと、プリウスPHVおよびGR86へ充填し、2台の自動車走行デモンストレーションを行いました。来賓には「カーボンニュートラルのための国産バイオ燃料・合成燃料を推進する議員連盟」から、衆議院議員で会長の甘利明様、副会長の山際大志郎様に加え、F1ドライバー経験もお持ちの山本左近様を、また、経済産業省から、参議院議員で副大臣の太田房江様をはじめ幹部職員の皆様をお迎えし、ガソリンと変わらない自動車走行をご体感いただきました。

### <走行デモンストレーション式典の様子>



左写真、当社社長 齊藤 猛。

右写真、左から当社社長、トヨタ自動車社長 佐藤 恒治様。

<合成燃料充填、走行デモンストレーションの様子>



左写真、当社社長、副社長 宮田知秀による合成燃料充填。  
右写真、プリウスPHV走行中の様子。

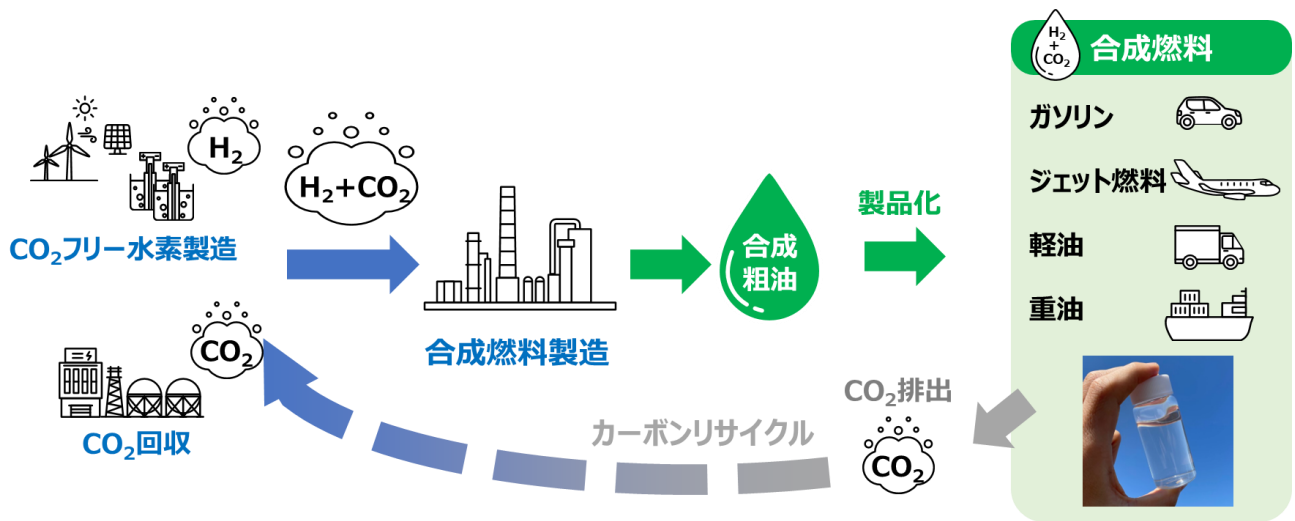
合成燃料は、水素とCO<sub>2</sub>を原料とするため、製品ライフサイクル全体においてCO<sub>2</sub>排出量を抑えることのできるカーボンニュートラル燃料です。液体燃料である合成燃料は、既存インフラを活用できるため、非常に広い領域、業界でのカーボンニュートラルに貢献することができます。今後も合成燃料の技術開発を推進し、早期の技術確立および社会実装を目指してまいります。

ENEOSグループは、『エネルギー・素材の安定供給』と『カーボンニュートラル社会の実現』との両立に向け挑戦していくことを長期ビジョンとして定めています。エネルギー・素材の安定的な提供という「今」の責任を果たしながら、トランジションを通じて「将来」もその責任を果たし続けるために、エネルギーの用途や利用する場所などに応じて、それぞれの最適解を追求していく必要があります。当社は、合成燃料のみならず、再生可能エネルギー、SAF、水素、CCS、リサイクル等、当社が強みを有する事業領域に多角的に取り組むことで、エネルギー・トランジションの取り組みを推進してまいります。

以上

※1 2022年4月19日 ニュースリリース [「CO<sub>2</sub>を原料とした合成燃料の製造技術開発がグリーンイノベーション基金に採択されました」](#)

<参考資料：合成燃料の製造工程>



## <補足資料>

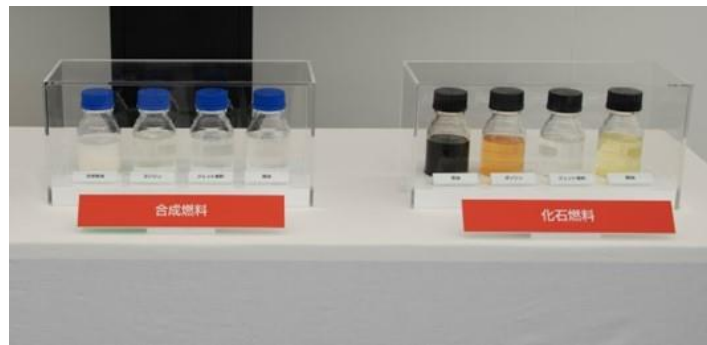
### 合成燃料の外観

#### 合成燃料の特長・展示

#### 合成燃料の特長

CO<sub>2</sub>フリー水素とCO<sub>2</sub>の合成反応により製造される「液体燃料」

- ・ガソリン～重油まで**多種の燃料を製造可能**
- ・**貯蔵・輸送が容易**でかつ**エネルギー密度に優れる**
- ・**既存インフラ設備**を活用可能
- ・**硫黄化合物、窒素化合物、重金属等を有さない環境にやさしい燃料**



ENEOS株式会社

Copyright © ENEOS Corporation All Rights Reserved.

### ご来賓との合成燃料走行デモンストレーション

ご来賓の先生方はじめ多くの方々にご参加頂き、多数のメディアで初の試みについて取り上げていただいた。

#### 走行デモンストレーション



ENEOS株式会社

Copyright © ENEOS Corporation All Rights Reserved.

以上